学校だより

令和４年　９月２９日
第９号
四日市市立小山田小学校

☆全国学力・学習状況調査の結果から

６年生が４月19日に実施した全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。調査から測定できるのは、子どもの学力の一部であり、学校の教育活動の一側面で、結果をもとに、学校と家庭が協力して、教育活動や児童の学習状況の改善につなぐことが大切であると考えています。※調査問題については、文部科学省HPからご覧になれます。

１．今年度の調査からみられる小山田小学校の特徴

本年度、国語・算数・理科について全国平均を下回る結果となりました。無回答率については、今までの学力テスト（昨年度４月実施のみえスタディチェック等）と比べてみても低くなっており、問題に粘り強く考えて取り組む力がついてきていることがわかります。

【国語】

（強み）話し合うとき、相手の伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることはできています。文章の叙述から、登場人物の行動や気持ちについて考える、また人物像や物語の全体像を具体的に想像することもできていました。

（弱み）文章の描写から登場人物の関係や文章全体の構成・書き表し方の工夫について捉えることが苦手です。また、互いの立場や意図を明確にして計画的に話し合うことや、文章を条件に応じて修正し、記述することについて課題がみられました。

【算数】

（強み）最小公倍数や表の数量の関係を求める問題などの基礎的事項についてよくできており、県・全国平均よりも正答率が上回っていました。目的に応じてグラフを選択し必要な情報をとらえることや、割合についての問題もできていました。

（弱み）プログラムと図形の作図を組み合わせた問題で、作図の知識・理解をもとに思考・判断することができませんでした。目的に応じて、表やグラフのデータの特徴から数量の関係を立式し、与えられた条件で記述することが課題です。

【理科】

（強み）生命に関する分野「昆虫の体のつくりや育ち方」ができていました。特に「観察などで得た結果を他者の気づきから分析・解釈し、自分の考えをもつ」では、全国平均正答率を10%上回っていました。他の分野でも、知識・理解をもとに、根拠となる資料を適切に選ぶことができていました。

（弱み）基礎的な自然の事物・現象についての知識・理解をもとに、問題を解決するまでの道筋を考えることや、得られた実験結果をもとに、追加された情報から分析・解釈したことを記述することに課題がみられました。

２．児童質問紙からみられる特徴（学習・生活の状況に関して）

（強み）

「人の役に立つ人間になりたい」・「友だちと協力するのは楽しい」・「人が困っているとき進んで助けている」89～97%（全国平均と同等）

「いじめはどんなことがあってもいけない」100%（全国平均より3%↑）

「5年生までの授業で、ICT機器を週3回以上使用」86%（全国平均より15%↑）

「学級生活をよりよくするため、学級での話し合いで、互いの意見のよさをいかし解決方法をきめている」（86%（全国平均より12%↑）

「先生はよいところを認めてくれている」96%（全国平均より10%↑）

「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらう、一緒に遊んでもらうことがある」46%（全国平均より16%↑）、

「地域や社会をよくするため何をすべきかを考えることがある」68%（全国平均より16%↑）

学校・家庭・地域の連携した教育活動の取組が、子どもたちの思いやりの心や自尊感情の育成に良い影響を与えています。

教育活動に対話や協働的な活動を取り入れ、問題解決的な授業を進めてきたことが、知識・技能の定着のみならず、学びにむかう力・人間性の育成にも欠かせないコミュニケーション力・意欲・向上心・自制心などの非認知能力の育成にもつながっています。

また情報活用能力育成のため、タブレットＰＣを活用し学ぶことも授業に位置づいてきました。

（弱み）

「難しいことでも、失敗を恐れずに、挑戦している」61%（全国平均より12%↓）

「家で学校からの課題でわからないことがあったとき自分で調べている」29%（全国平均よ39%↓）

「各教科で学んだことを生かし考えをまとめる活動を行っていた」61%（全国平均より11%↓）

「1日あたりのゲーム（携帯電話・スマホ使用のゲーム含む）をする時間が４時間以上」46%（全国平均より29%↑）

※動画視聴について「４時間以上」の回答28%（全国平均より19%↑）

一方、自ら学ぶ力の育成については、まだまだ課題がのこります。本校児童は、落ち着いて学習できていますが、自分の考えに自信がもてないことや、問いをもち試行錯誤しながら粘り強く追求したりすることに課題がみられます。自らの学習・生活について、自分事としてとらえ、目的や方法を考えられる力をのばしていきたいと思います。

【今後に向けて】

学習の基礎的な知識や技能について、ドリルパークなどを活用し個別の課題に応じて学習するよう指導・支援していきます。また論理的思考力向上のため、知識や技能を活用し思考・判断する力や自分の考えを表現する力が身につくように授業改善していきます。さらに、学習した内容や学んだ解決方法を振り返り、他教科の学習や実生活への活用を通して、自ら学ぶことの大切さを伝えていきます。

各家庭でも、４月より自主学習の取組についてご支援いただいているところです。また、ゲームやインターネットなど、使い方のルール（使用時間等）を相談して決めるなどの適切な使用についても、ご家庭でご協力いただきますようお願いします。